

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)
No.27 2024年11月14日(木)

にいがた私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に!

2024年11月7日

新潟県私学の公費助成をすすめる会
新潟市中央区弁天橋通1-13-13
Tel.025-286-7600

新潟

署名運動終盤へ 各地で街頭宣伝行動 私学無償化、教員増の実現を県民にアピール



新潟青陵の父母と教職員、「すすめる会」事務局は、新潟市のイベント会場で2回に分け、宣伝行動を実施しました。県外から部活動遠征で訪れた中学生と引率の先生は、私学にお世話になるかもしれないと、署名に快く応じてくれました。両日のとりくみで、55筆の署名が集まりました。
(写真右は10月20日の模様。写真上は11月3日の模様。会場は両日とも「新潟ふるさと村」)



新発田中央の父母と教職員は、イベント会場で私学署名への協力を来場者に呼びかけました。1時間のとりくみで177筆の署名が集まりました。(11月3日 新発田市)



私学助成署名終盤となった10月下旬から11月上旬、県内の各地で街頭宣伝がとりくまれ、県民に私学助成署名への協力を呼びかけました。翌日には、新潟市と新発田市で街頭宣伝が取り組まれました。四方所での行動で、二百九十二筆の署名が集約されました。

新潟では、11月2日に長岡で「私学のひろば2024」を開催、集雲の終了後や翌日も含めて、すでに4か所で街頭署名をおこなない、父母も参加して多くの市民に署名への協力を訴えました。さらに今週末にも、生徒も参加しての街頭署名を予定しています。街頭での対話に後押しされ、終盤の署名運動に奮闘しています。

日時 十一月十七日(日)十三時〜十四時
会場 新潟ふるさと村

署名提出最終盤の街頭宣伝行動に全県から参加を!



「ひろば」参加者は一斉に街頭に出て署名呼びかけ。署名60筆を集約。(7オ-長岡前)



私学のひろば2024 署名運動の歴史から署名の大切と学ぶ

十一月二日、長岡市の会場で「私学のひろば2024」が開催され、県内私立高校の父母・教職員、卒業生が参加しました。
前半は、「請願署名運動五三年の歩み」と題して、プレゼンテーションによる学習会を実施(解説は、私教連公費助成対策部長の中村悠さん)。「私学の公費助成をすすめる会」の発足から始まった私学助成署名運動の歴史を振り返り、運動による成果を確認しつつ、署名の大切さを参加者で確認し合いました。
現役父母や卒業生が発言に立ち、私学の良さを語るとともに、私学の学費無償化にむけ署名をさらに頑張りたいとの決意も語りました。教職員からは、県の定員割れ校への私学助成削減の動きに対し、生徒らの教育の機会を奪うものと批判の声が上がりました。
「ひろば」の後半では、参加者が街頭に繰り出し、市民に私学助成署名への協力を呼びかけました。
参加した父母は、「署名してくれただけから「頑張ってください」と言われ、署名を頑張ろうという気持ちになった」と感想を述べていました。

私学助成署名の中間集約(11/15時点)の結果を必ず本部に報告してください。未組合員、未加盟校にも声をかけて、署名や集会への参加を呼びかけましょう。